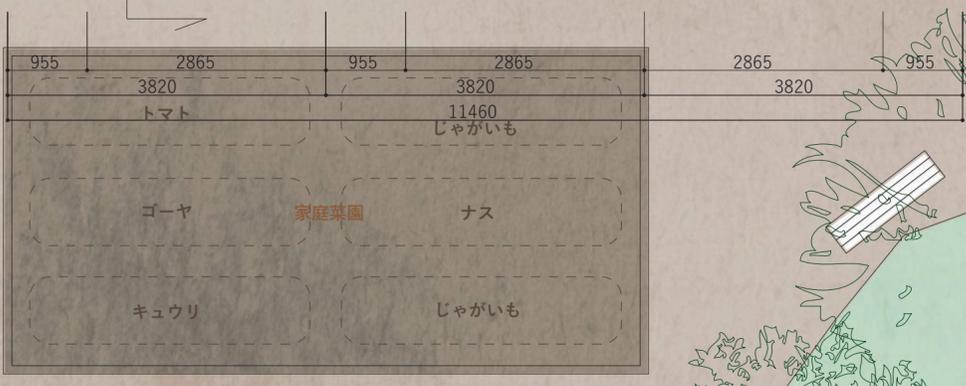
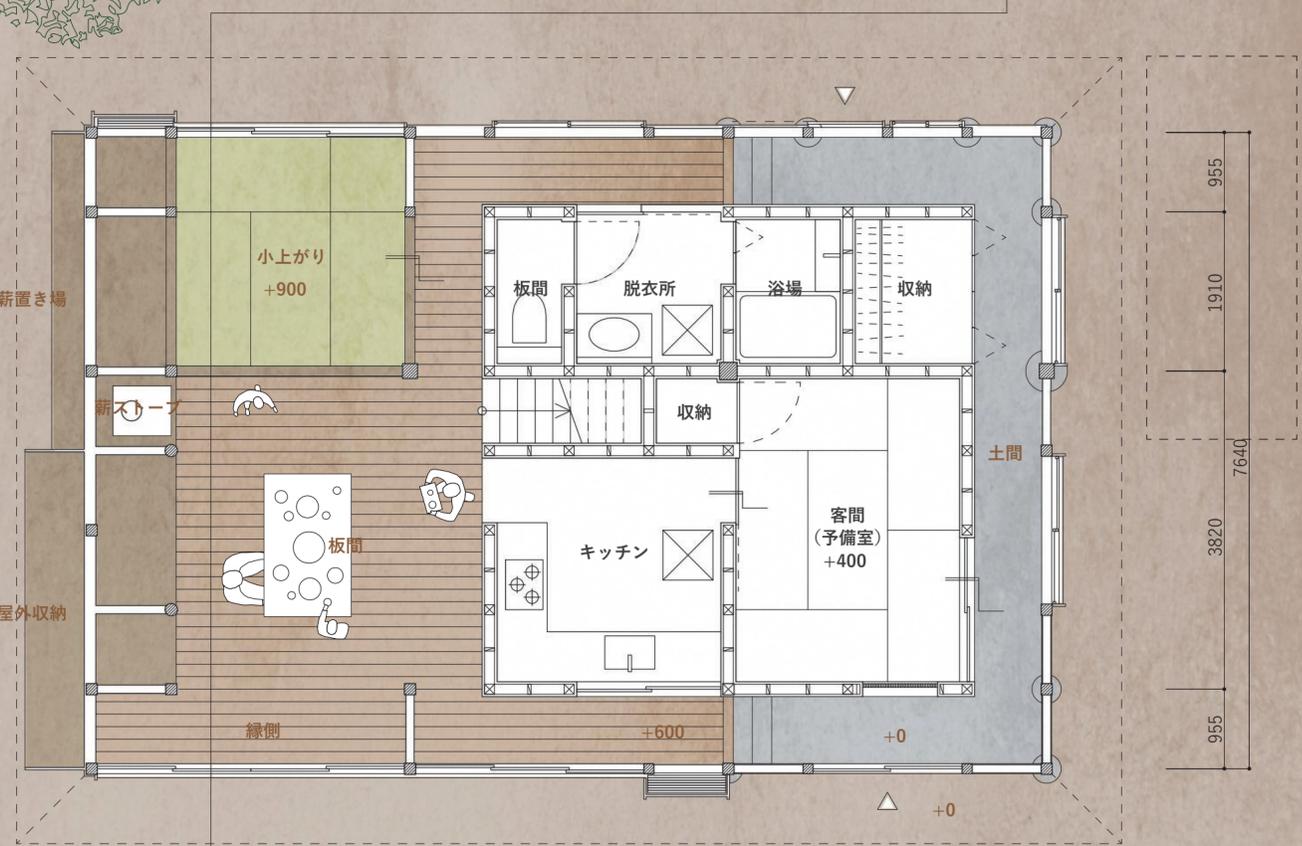
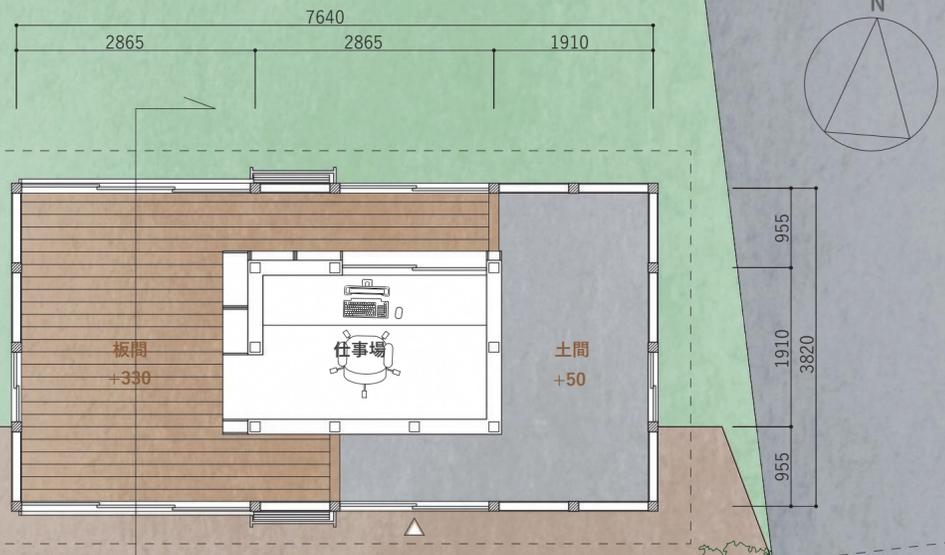


# やどかりぐらし

House in an old house

やどかりは、自身の成長や周囲の環境に合わせて「やど」を交換しながら暮らしている。  
豊かな自然を求めてここへやってきた家族は、やどかりのようにその環境と上手く付き合いながら暮らしていく。



配置図・1階平面図 1/60

## やどかりのように住まう

豊かな自然環境に適応するために、既存の古民家をやどかりの「やど」と捉え、これまで住んできた家をまるごとそこへ引っ越すようにすることで、やどかりのように住まう家を計画する。それによって、以前の快適性を引き継ぎながら、自然に囲まれた古民家暮らしを楽しむことができる。

## 既存に挿入するヴォリューム

既存の大黒柱周りに、大壁で構成されたヴォリュームを挿入する。そして、そのヴォリュームには主なる耐震要素と基本的な住宅機能を負担させる。

2F  
・寝室  
・子ども室  
・勉強スペース

1F  
・水廻り  
・予備室  
・収納

## 土間と板間の回廊

ヴォリュームを配置することで、既存には新たに土間と板間の回廊が生まれる。ヴォリュームに備わる機能をきっかけに、この回廊では多様なアクティビティが繰り広げられ、それが家族の暮らしをより豊かにする。

回廊でのアクティビティ

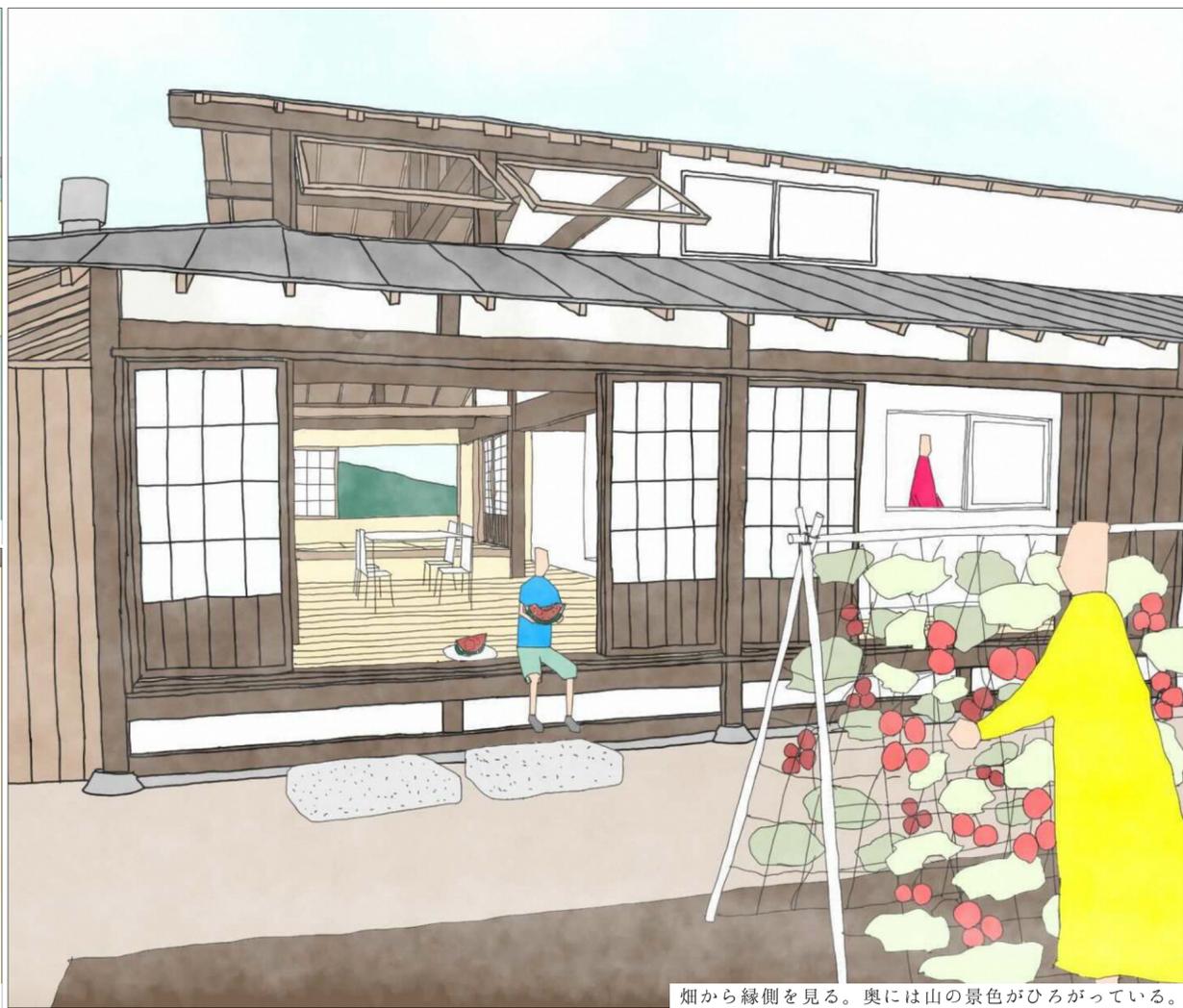
- ① 帰ったら手洗いにダッシュ!
- ② 勝手口からラクラク洗濯
- ③ 衛生的に荷物を管理
- ④ 秘密基地みたいな階段
- ⑤ 板間の空間が広がっていく
- ⑥ 客間へお茶をおもてなし
- ⑦ 料理しながら「おかえり!」
- ⑧ キッチンへ野菜をお届け
- ⑨ 隠れ家のような客間

## 庭に広がる豊かな暮らし

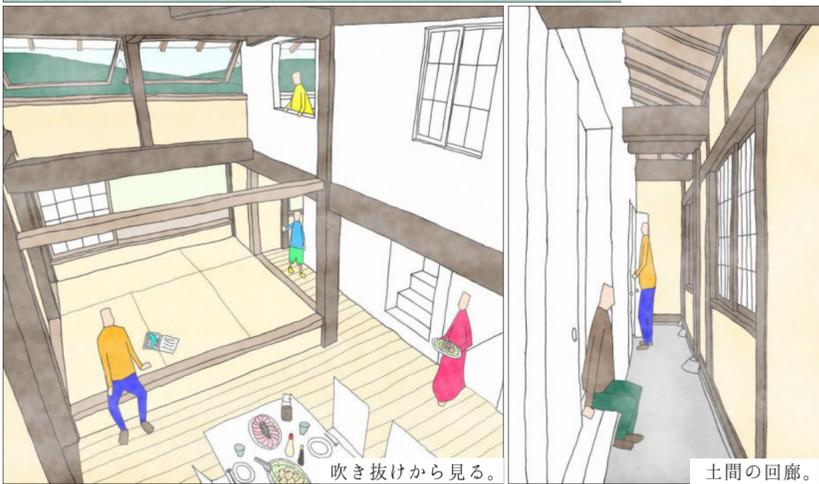
敷地北東には、父の仕事や趣味のための離れを主屋と同様の言語で計画する。主屋と雁行させることで、北西にプライベートな庭が生まれる。また、南西には母のための畑を設ける。道路沿いに計画することで、ここを通りかかる地域住民との交流が生まれる。



北側の丘から見る。

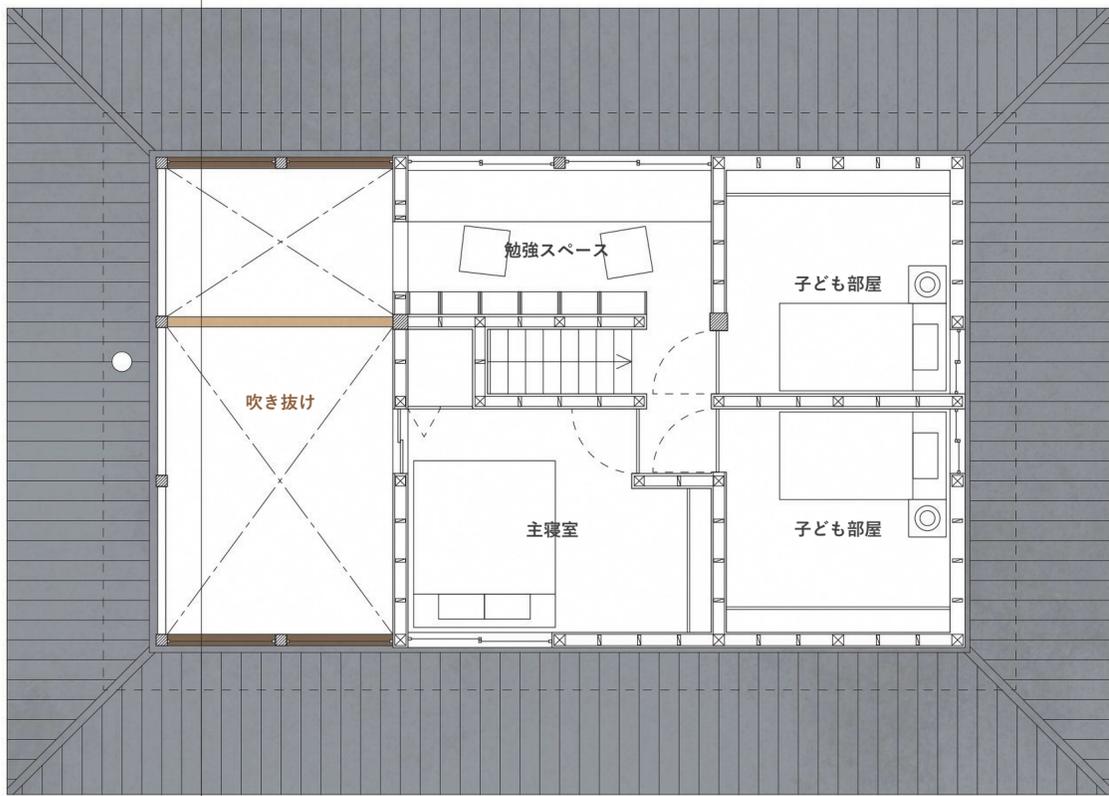


畑から縁側を見る。奥には山の景色がひろがっている。



吹き抜けから見る。

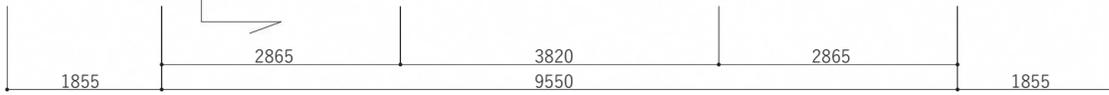
土間の回廊。



東側立面図 1/100



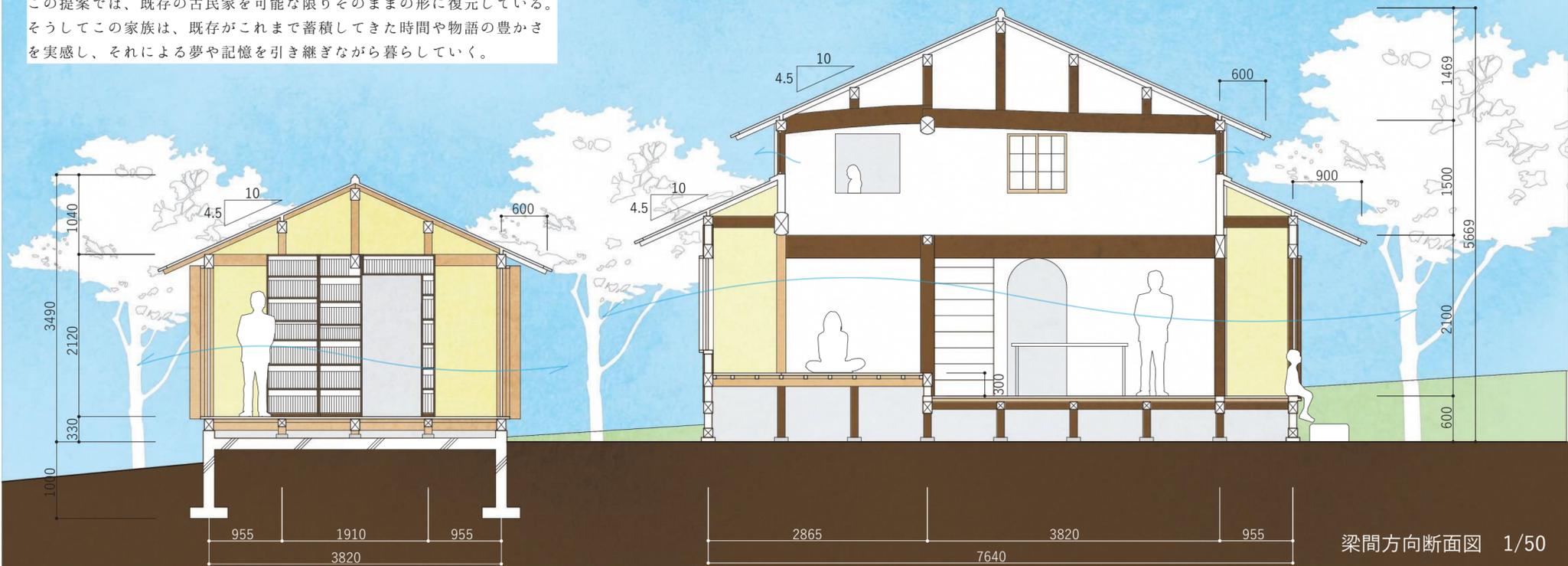
南側立面図 1/100



2階平面図 1/60

既存の夢と記憶を引き継ぐ

この提案では、既存の古民家を可能な限りそのままの形に復元している。そうしてこの家族は、既存がこれまで蓄積してきた時間や物語の豊かさを実感し、それによる夢や記憶を引き継ぎながら暮らしていく。



梁間方向断面図 1/50